

ともに活かしてもに育てる農業の輪

農業委員会だより



農業委員会では毎年、期間を定め集中的に「農地パトロール」に取り組んでいます。「農地パトロール」では、筆ごとに、耕作がされているかどうかを調査します。平成29年度調査結果と平成30年度の実施についてお知らせします。

平成29年度農地パトロール結果(農地利用状況調査結果)

近年、農業従事者の高齢化や減少、農産物価格の低迷などにより、私たちの周りには耕作管理されていない農地、耕作放棄地が増えています。

耕作放棄地を放置したままですと病害虫の発生源や鳥獣の巣となるなど、近隣の農地や住民に大変な迷惑がかかります。また、国土保全や景観維持など農地の持つさまざまな機能が失われてしまいます。

農地は、一旦荒廃が進むと、耕作可能な農地へ復旧するには多大な投資と労力が必要となります。農地法により、農地の管理は農地権利者(所有者、賃借人等)の責務とされています。農地をお持ちの方は、農地の有効利用と適切な管理をお願いします。

農業委員会では、農地の有効利用と耕作放棄地の発生防止及び解消を図るために、毎年、全ての農地

(平成29年度農地利用状況調査) 単位(ha)

地域	再生可能な耕作放棄地	再生不能な耕作放棄地	合計
出雲	19	56	76
平田	10	57	67
佐田	9	92	101
多伎	8	11	19
湖陵	14	10	24
大社	14	3	17
斐川	5	2	7
合計	80	231	311

※四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

平成30年度
農地パトロールを実施します。

農地パトロールの目的

- ①地域の農地利用の総点検
- ②耕作放棄地の実態把握と発生防止・解消指導と違反転用発生防止及び早期発見是正対策

実施予定時期

7月頃～8月頃
※各地区を順番に回って行きます。

調査対象

出雲市農業委員会が管轄する市内全ての農地が対象です。

調査員

各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局職員等で行います。

農業者年金に加入しませんか。

農業者年金は、農業者のための公的な積立年金です。20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者である農業者の方(年間60日以上農業に従事)ならどなたでも加入できます。これからの安心で豊かな将来設計のために、農業者年金の加入をお考えください。

農業者年金のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金
- 終身年金で80歳までの保証つき
- 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象
- 認定農業者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助も

農業者年金受給権者現況届を提出してください

農業者年金を受給されている方は、農業者年金基金から送付される現況届を提出してください。現況届を提出されない場合は、農業者年金を受給できなくなりますので必ず6月中に提出してくださいようお願いいたします。

提出方法 現況届は5月末までに農業者年金基金から受給者へ送付されます。記入例に従って必要事項を記入し、下記受付場所へ提出してください。

受付期間 6月1日(金)～6月29日(金)

- 受付場所**
- ◎本庁4階…出雲市農業委員会事務局
 - ◎斐川支所…産業建設課
 - ◎平田支所…地域振興課
 - ◎佐田・多伎・湖陵・大社支所…市民サービス課

なお、6月1日(金)4日(月)5日(火)の午前9時から午後5時までは、市役所本庁舎1階西側入り口から入ってすぐ右手の1-3相談室でも受付を行います。

おたずね／出雲市農業委員会事務局 ☎21-6762

vol.26 「アメリカ・フィンランド・ブラジルの5月・6月」



アレキサンダー
国際交流員

アメリカの学校は場所により、5月末～6月末の間に学年が終わります。ですから6月に入ると、すでに夏休みを楽しんでいる子、まだ学校が終わっていない子もいます。夏休みは2か月半程度あり、日本に比べてかなり長いです。海に行ったり、家の裏庭でバーベキューを楽しんだりして、夏の遊びを満喫する時間がたくさんあります。

私の地元ニューヨークの冬は寒くて過ごしにくいですが、夏の気候はとても快適でかなり過ごしやすいです。特に6月は街中に人があふれてきて、より賑やかになります。



タンヤ
国際交流員

フィンランド、特にラップランド地方はまだ寒い日もありますが、季節は夏の初めです。5月の夜明けは早くて夕暮れが遅いです。6月のラップランド地方は白夜のため、夜もずっと明るいです。

学校の夏休みは、5月末または6月初めから8月中旬ごろまでです。その後、新しい学年が始まりますので、1年生は8月に入学します。



カミーラ
国際交流員

6月は、ブラジル全国でいろんな祭が行われているので、とても楽しい時期です。「Festa Junina」はポルトガル語で「6月の祭」という意味で、伝統的な野良着を着て「Quadrilha」を踊ります。祭の時期独特のおいしい食べ物がたくさんあります。このころ天候は少し涼しくなってくるので、グリーンピースのスープや焼きトウモロコシなどをよく食べます。



国際交流員は、国際理解教育の場などに積極的に参加し、地域の国際化のために活動しています。
おたすね／文化国際室 ☎21-6576

となりの

ミコトツッキー

出雲生まれのトキの状況

第37回



今までに、出雲で生まれたトキは34羽で、すべて新潟県の佐渡トキ保護センターに移送しています。そのうち28羽が佐渡島内で放鳥され、現在14羽が佐渡の厳しい冬を乗り切っています。

昨年は佐渡の野生下全体では、77羽のヒナが巣立ちしました。その中で出雲生まれのトキは8羽が繁殖に関わり、6羽のヒナの巣立ちが確認されています。

今年、2月の寒波の影響で野生下での繁殖行動開始は例年に比べ少し遅めでしたが、3月末までに佐渡の野生下で7組のペアで抱卵が確認されています。

出雲生まれの14羽が繁殖に関わり、たくさんヒナを育て、いつの日か、出雲に帰って来てくれることを願って、これからの佐渡（環境省）の情報に注目していただきます。



※AFペアと平成29年9月に放鳥されたNo.311オス（右手前）

おたすね
出雲市トキ分散飼育センター
☎21-3550